

University of Shizuoka Magazine

静岡県立大学広報誌

No.131
2016. March

はばたき

特集

しずおか学のススメ

キャンパスピックアップ
静薬創立100周年を迎えて
剣祭・橘花祭2015開催レポート

研究室訪問
薬学部 医薬生命化学研究室

学生の日々
卒業生から新入生へのメッセージ

CONTENTS

- p01 **・特集**
・しずおか学のススメ
- p05 **・キャンパスピックアップ**
・剣祭・橋花祭2015 開催レポート
・静岡県ゆかりの実業家講演会
・HPSシンポジウム開催報告
・現代韓国朝鮮研究センター活動報告
・COC地方創生シンポジウム ほか
- p09 **・はばたき寄金からのお知らせ**
・静葉創立100周年を迎えて
- p11 **・研究室訪問**
・薬学部 医薬生命化学研究室
- p13 **・産学民官連携**
・焼津市との包括連携協定
・産学民官連携のつどい
- p14 **・学生の日々**
・新入生へ贈る言葉
- p15 **・図書館だより**
・図書館からのお知らせ
・シリーズ私の一冊の本
- p16 **・連載**
・フードマネジメント研究室レシビ連載
- p17 **・Informaiton**
・教員人事／受賞一覧
・木苗前学長からの寄附金により図書購入
・平成27年度学位記授与式のご案内



表紙写真:岡村昭彦文庫
(谷田キャンパス附属図書館内)

特集

地域で学び、地域を愛する。 しずおか学のススメ

平成 26 年度から、地元静岡の特性と魅力を学ぶ「しずおか学」科目群を全学共通科目に設けました。地域を愛し、地域に貢献するマインドを醸成することを旨とした教育の取り組みをご紹介します。



ムセイオン静岡「MUSEUMと文化」

大学周辺に文化施設が隣接する環境を生かし、美術館での企画展鑑賞や、図書館や舞台芸術センターなどの施設見学を通して、国際社会で活躍する上でも重要となる文化的教養を身に付けることを目的としている。



ムセイオン静岡…谷田キャンパス周辺にある6つの教育文化機関と連携し自主協働しているプログラム。「ムセイオン」とは、古代エジプトのアレクサンドリアに興った世界初の学問・教育・文化・芸術の総合施設で「ミュージアム」の語源と言われる。

机上だけでは身に付けられない力を、 地域というフィールドで学ぶ

地方創生のため、地方の大学の果たす役割がさらに増す中で、本学は平成 26 年度の文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）※1」の申請・採択に伴い、これまでの教養教育の見直しを図りました。静岡の文化や歴史、産業などの地域に関連した全学共通科目を整理し「しずおか学」科目群を設置、「地域の健康長寿」や「防災と医療」などをテーマとした授業を新設するなど、地域課題解決に資する人材育成の

科目紹介

茶学入門



お茶どころ静岡県の学生として、茶の歴史や文化、生理機能、生産栽培・加工技術、マーケティングに至るまで、茶に関する

広範な知識を学びます。茶業関係者や緑茶インストラクターの方など、毎回各テーマに関する一流の専門家の外部講師を招いて授業が行われます。

科目紹介

地域産業の国際比較 —静岡と世界



世界の代表的な地域・地場産業の事例を取り上げながら、お茶や、プラモデル、日本酒といった静岡県の産業と、日本の地域・地場産業の特徴に

についての理解を深めることを目的としています。地域・地場産業の現地調査による豊富なエピソードや関連資料を用いた授業が行われます。

科目紹介

静岡市連携留学生等 基礎教育講義



留学生や海外で働くことを目指す学生を対象とした、アジアとの架け橋になる優れた学生を育成する科目です。市内・県内の企業や、市民、留学生 OB・OG の協力のもと、企業訪問や

社会人とのディスカッションを通して、日本の企業文化や静岡の産業構造などを学びます。

教育拡充に取り組んでいます。平成 27 年度入学者から、しずおか学は選択必修科目として、卒業時まで最低 2 単位以上を履修することになっています。

しずおか学の授業は、大学コンソーシアムとも連携し※2、自治体職員や、地域で働く専門職、住民の方々を外部講師として招いたり、地元企業や各市町村を訪問するなど、座学とフィールドワークから構成され、学生は、科目にあった地域において実践的な経験を積みます。地域に入り、密接に取り組むことで、より深く地域課題を認識し、主体的に課題解決に取り組む意欲の涵養につながります。

※1 地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

大学が自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めることにより、地域コミュニティの中核的存在（COC: Center Of Community）として機能強化を図り、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目的とするものです。

科目紹介

静岡の防災と医療



東海地震が想定され、その対策が急がれている静岡県内の防災と医療を推進する組織と、それらを支える専門職の役割と取り組みを紹介し

ます。医療体制、食糧支援、心のケア、ボランティア組織などを包括的に学びながら、自らの防災と、地域の防災と医療に何が貢献できるかを考える科目です。

科目紹介

地域づくりの方法



市民活動、地域福祉、行政の 3 つの現場から、地域づくりに取り組む外部講師を招き、地域づくりの手法について学び

ます。対話や協働によって地域社会を形成することの重要性を実践的な視座から見つめ、考えることができます。

PICK UP!

英語で日本を学ぶ 科目が新規開講！

「Japanology」

茶学や方言などの言語、環境、産業構造などを、各専門分野ごとに教員が英語で講義します。日本文化や社会を客観的に捉え、英語で説明できるようになることを目指す科目です。鬼頭学長も人口減少問題について講義する予定です。

※しずおか学科目群とは異なります。

■ 剣祭・橘花祭2015開催レポート



剣祭のオープニングセレモニー

平成27年10月24日・25日の2日に渡り、谷田キャンパスでは第29回剣祭を開催しました。今年のテーマ「色祭満祭」には、「学生が作り上げる色彩豊かな『祭』を、ぜひ一緒に感じて楽しんで欲しい」という思

いが込められています。ミス&ミスターコンテストやお化け屋敷といった毎年人気の企画に加え、有名アーティストやアナウンサーを招いてのステージには、学内外からも例年以上に多くの方が来場しました。

11月7日・8日には、短期大学の第19回橘花祭を小鹿キャンパスで開催しました。バンドなどのステージパフォーマンスのほか、男装・女装コンテストやビンゴ大会の企画は大いに盛り上がりました。各学科の展示や入試相談会には地域の方々や受験生が訪れるとともに、合わせて開催された同窓会総会とホームカミングデイには卒業生が集い、懐かしい話に花を咲かせていました。

両大学祭とも、県大と学生のさまざまな魅力を楽しむことができる4日間となりました。



橘花祭(小鹿キャンパス)

■ 静岡県ゆかりの実業家の講演会を開催



第1回講演会の様子

グローバル地域センターでは、経済・産業や国際関係の大きな流れと、その中で日本や静岡の立ち位置、今後の方向性について、情報や考察の観点を提供するため、静岡県ゆかりの著名な実業家をお招きし、2回にわたり、公開講演会を開催しました。

第1回目は平成27年11月27日、本田技研工業㈱の伊東孝紳取締役相談役（前社長、旧清水市出身）に、インドでの二輪

車の事業展開を例に、海外戦略について語っていただきました。

「技術を通じ世界に貢献したい」という企業理念の実現のため、文化・宗教・習慣の違い等を大事にし、現地に溶け込み、またそれを実現する人材を大切にしていること、また合併企業の設立・解消と、その後販売網を一から開拓した苦労などを、映像を交えて説明いただきました。受講者アンケートでは「本当の意味での現場主義がホンダにはある」といった声がありました。

2月1日の第2回目の講演会では、凸版印刷㈱の足立直樹代表取締役会長（袋井市出身）をお招きし、女性の活躍の支援をテーマにお話いただきました。

凸版印刷では、「人材」と「人財」と考え、女性が活躍しやすい環境を整えるため、積極的に管理職に登用するとともに、その予備軍の意識改革にも力を入れ、また家庭と仕事の両立支援にも取り組んでいるとのこ

とでした。

会場からは、「労働力人口が減り、働き方の見直しや多様な人材の活用を迫られており、こうした企業が増えれば、働きやすい社会になる」といった意見がありました。

2回の講演会いずれも、多くの皆様にご来場いただき、大変好評のうちに終了しました。平成28年度も多彩な講師をお招きし、開催しますので、ぜひご参加ください。



第2回講演会の様子

■ ホスπιタル・プレイ・スペシャリスト第8回国際シンポジウム&ワークショップを開催



基調講演の様子

遊びを通じて療養中の子どもをケアする専門職「ホスπιタル・プレイ・スペシャリスト(HPS)」の国際シンポジウムとワークショップを1月23日に短期大学部で開催しました。当日は「医療的ケアを必要とする子どもの『生』の発見―生きる意味の躍動と遊び―」と題し、京都大学大学院教授の矢野智司氏による基調講演、HPSによる子どもにやさしい医療を実現するための活動を体験できる参加型ワークショップ、HPSによって開発された「メディカルかるた」のお披露目など、

多彩なプログラムを展開し、全国各地から144名が参加しました。

続く1月24日には、イギリスのバーミンガムこども病院の上級HPS、Emma Eardley氏を講師に迎え、HPSのためのスキルアップ講座として「英国のホスπιタル・プレイから学ぶ医療的ケアを受けながら生活する子どもいのちの終わりを迎える子どもすべて遊びで支えよう」を開催いたしました。

今回のシンポジウム等は、子どもの発達を保障するための遊び支援の必要性を明確に

し、子どもと一緒に行う真の遊び活動の実践について学ぶことを目的としており、2日間のイベントには福祉・医療関係者を始め、児童福祉や小児医療に関心を持つ一般市民や学生の参加者も多数に上り、これまで以上にホスπιタル・プレイに対する期待の高さがうかがえました。



Emma Eardley氏によるワークショップ



メディカルかるた

■ クリストフ・マルケ教授のワークショップと講演会



1日目 ワークショップ

フランスの日本文化研究第一人者であるクリストフ・マルケ氏（フランス国立東洋言語文化研究院教授／日仏会館フランス日本研究センター所長）が、本学広域ヨーロッパ研究センターの招きで1月26・27日に静岡を訪れ、ワークショップと公開講演を行いました。

26日は、日本文学の研究者でもある芳賀徹 静岡県立美術館長を迎え、マルケ教授

を囲んだワークショップを開催しました。「江戸時代の民画を再考する」と題して行われた報告では、マルケ教授が江戸時代に街道筋の土産物として流通した民画「大津絵」の図版を紹介し、当時の庶民の諷刺やユーモアを解説しました。芳賀館長は、江戸時代、徳川幕府の統治によってもたらされた『バックス・トクガワナ（徳川の平和）』について触れ、鬼頭宏学長や県内の美術関係者らと交え、民画などの大衆芸術を育んだ当時の社会背景などについて活発な質疑、討論で盛り上がりしました。

27日の、学生や一般聴衆約100人を前に行った公開講演「美術史からみた日仏文化交流」では、大津絵の精神を受け継ぐ幕末明治期の画家、河鍋晩斎^{かわなべきようさい}について紹介しました。江戸期の浮世絵をはじめ、明治

以降の風刺画・戯画作品に好んで描かれた妖怪と水木しげるとの関わりなどに触れ、日本以上にフランスをはじめ海外で評価された晩斎^{きようさい}の姿を、多彩な図版とともに解説しました。マルケ教授は、静岡県立芹沢佳介美術館収蔵の大津絵を観覧し、二日間の静岡滞在を締め括りました。



2日目 公開講演で登壇するマルケ氏

三本柱で活動する現代韓国朝鮮研究センター



両校の学生が真剣に白熱討論した日韓合同ゼミ(延世大)

本学の現代韓国朝鮮センターは、広い視野からの朝鮮半島研究をモットーとして国際関係学研究科付設として2003年に設置されました。本学アジア研究の蓄積を基礎に、教育、社会貢献、研究の三本柱で活動しています。平成27年度下半期の一コマを紹介します。

教育 11月10日、本学と交流協定がある延世大学（韓国）の原州キャンパスを小針進副センター長（国際関係学部教授、学生部長）と青山知靖助教、同学部学生16名が訪問し、延世大の学生20名と教授陣と日韓合同ゼミを開催しました。ほぼ隔年で行われており、5回目となる今回は「北朝鮮の人権問題」を主なテーマとしました。「外交での葛藤はあるが、日韓両国は同問題で協力すべきだ。学生ができることは両国間の草の

根交流を維持することではないか」といった意見が出された。また、谷田キャンパスとも回線をつないで、奥菌秀樹研究員（国際関係学研究科准教授）とそのゼミ生6名も映像参加しました。

社会貢献 12月18日、県民公開シンポジウム「2016年の朝鮮半島情勢と日本」を朝日新聞社の後援を得て、ブラサヴェルデ（沼津市）で開きました。本センターと交流協定があるソウル大学日本研究所から所長である朴喆熙教授を招き、伊豆見元センター長（国際関係学部教授）と、日韓関係の動向や朝鮮半島情勢を話し合いました。「日韓関係の現状は曇り時々晴れに向かっている」（朴教授）といった話に、約70人の県民の皆様が熱心に耳を傾けてくれました。シンポジウムは毎年開催していますが、県東部

では初開催でした。

研究 各研究員は朝鮮半島をめぐる安全保障、韓国政治と社会、日韓関係などの分野で研究活動を行っています。研究成果をメディア等でも積極的に発信していますが、その筆頭である伊豆見センター長は、1月26日、谷田キャンパスで「朝鮮半島を見つめて40年」と題し、その研究生活を振り返る特別講義を行いました。「これからの朝鮮半島は日米が北朝鮮とどう関係を結ぶかがカギだ」などと分析しました。1987年の本学創立から在職する伊豆見センター長はこの3月末日で定年退職する予定で、最終講義を兼ねたこの日は、学生、卒業生、教職員、メディア関係者など約110人が教室を埋めました。



沼津でのシンポで討論する朴喆熙教授(左)と伊豆見センター長



これまでの朝鮮半島研究を語る伊豆見センター長(谷田キャンパス)

「小ささを強みに」異分野融合の視点で経営を考えるビジネスセミナー



会場からも様々な質問や意見が寄せられました

地域経営研究センター主催のビジネスセミナーを、1月9日に開催しました。今年度は「小さくても「強い会社」をつくる! ースポーツ、

生き物から学ぶ「弱者の戦略」ー」と題し、経営と異なる分野の視点から中小企業の経営戦略を学ぶ講演を行いました。

同センター長の経営情報学部岩崎邦彦教授が、「小さいことはいいことだ」とテーマ提起をした後、静岡大学農学部 稲垣栄洋教授が「弱者の戦略：生物界のおきてに学べ!」のタイトルで、自然界で弱者が生き延びる生存戦略について解説しました。続いて、東京大学進学者数日本一の開成高校野球部 青木秀憲監督が、「弱くても勝つ方法」と題して、練習時間や部員数が

限られる開成高校野球部が、限られた条件でいかに最大の効果を出すのかについて話をしました。

講演後には、稲垣教授、青木監督、岩崎センター長によるパネルディスカッションが行われました。マーケティング、生物、スポーツと全く異なる分野ながら、「小さいことは強みになり得る」「弱点があっても何かで突出する」「競合と戦わない、ずらす戦略」など、中小企業の経営に重要な共通点が議論から多く浮かび上がりました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015を芝生園地で開催 —いのちいっぱい今を輝け—



園児によるシャボン玉による応援

がん患者や家族の支援とがん征圧をめざし、参加者がタスキをつないで夜通し歩くチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015静岡」が、本学との共催のもと、平成27年9月12・13日に芝生園地で開催されました。

前回大会終了後、大学生、大学職員、医療従事者、サバイバー（がん患者）、一

般の方々に構成された実行委員会を新たに発足し、1年間にわたり準備を重ねてきました。今年で3回目となった大会には、およそ100人のサバイバーを含む総勢1,800人が集い、本学からも150人を超える関係者が参加しました。

開会式では、有度幼稚園の園児が元気いっぱいの踊りと歌を披露し、日本対がん協会の垣添忠生会長と、合田敏尚食品栄養科学部長等の挨拶に続いて本学看護学部生が開会を宣言しました。

大きな拍手の中、先陣を切ってリレーウォークをスタートしたサバイバーに、その他の参加者も続き、総勢33チームが思いを乗せたタスキをつなぎました。ステージ上では、吹奏楽やダンス、ジャグリング等のパフォーマンスがイベントを盛り上げました。

夕方には多くの人々の思いが綴られた1,500を超すルミナリエに火が灯り、会場の

中央には、サバイバーや参加者の気持ちを代弁するように「HOPE」の文字がくっきりと浮かび上がりました。日曜日は小雨交じりの天候でしたがほぼ計画通りに進み、閉会式を迎える頃には天気も回復し、無事2日間の日程を終了しました。

実行委員長 若林敬二
(食品環境研究センター長)



ルミナリエにより映し出された「HOPE」

大学・地域共創シンポジウム 地域の健康を「幸福度」から考える



マリ・クリスティヌ氏の講演

大学COC事業の一環として、「ふじのくに」みらい共育センターは、1月29日に「幸福度」の観点から地方創生を考える「大学・地域共創シンポジウム」を静岡市駿河区のグランシップで開催しました。市民や学生、

本学と連携している自治体関係者ら約150名が参加しました。

元国連ハビタット（人間居住計画）親善大使でタレントのマリ・クリスティヌ氏による基調講演では、年齢や文化の違いにとら



パネルディスカッション

はばたき寄金からのお知らせ

「第3回県大生・県大教職員の創造力コンテスト」、 「第19回学生文芸コンクール」の開催

剣祭2日目の平成27年10月25日に、はばたき寄金主催の「第3回県大生・県大教職員の創造力コンテスト」の審査と「第19回学生文芸コンクール」の表彰式が行われました。県大生・県大教職員の創造力コンテストには6人(8件)のエントリーがあり、当日スピーチが行われました。学生文芸コンクールには短編小説2篇、短歌8人(40首)、川柳12人(60句)、イラスト3点、写真6点の応募がありました。



受賞者全員で

第3回県大生・県大教職員の創造力コンテスト受賞結果

部門	受賞	名前	所属	作品名
創造力コンテスト	優秀賞	酒井 真希	広報室	365日のホームカミングデー ～大学への帰属意識を持続可能とする取り組み～
	佳作	望月沙都美	地域・産学連携推進室	ムスリム・フレンドリーの食事を見た目も楽しく、おいしく健康に
	佳作	増田 修一	食品栄養科学部	ライトアップによる観光名所としてのシンボル化
	スピーチ賞	小林 祐介	経営情報学部	カレッジホールから始まる地域との連携

第19回学生文芸コンクール受賞結果

部門	受賞	名前	所属	作品名
短編小説	最優秀賞	田部美紗子	薬学部	夏霞
	佳作	宮崎 一城	国際関係学部	誰も知らない物語
短歌	最優秀賞	中林 友里	薬学部	皺
	優秀賞	田部美紗子	薬学部	金木犀
	優秀賞	山本 聖也	国際関係学部	白い
	佳作	中野 達基	薬食生命科学総合学府	日常
	佳作	内野 一輝	国際関係学部	物思いにふけて
	努力賞	山梨 智也	薬食生命科学総合学府	エスパルスサポーター
川柳	最優秀賞	中野 達基	薬食生命科学総合学府	日常
	優秀賞	吉田 裕和	薬食生命科学総合学府	親
	優秀賞	佐藤 雄飛	薬食生命科学総合学府	誕生日
	佳作	江田 康拓	薬食生命科学総合学府	メタボ
	佳作	佐藤健太郎	薬食生命科学総合学府	給料日前
	佳作	山崎 拓人	薬学部	電気屋
	努力賞	山梨 智也	薬食生命科学総合学府	就職難航
	努力賞	磯村 秀樹	薬学部	心の傷
	努力賞	牧野 文香	国際関係学部	飛ぶ鶏
イラスト	努力賞	氏原 萌子	食品栄養科学部	県大系男子
	努力賞	水野 春花	薬食生命科学総合学府	晴れ時々マーチ
	優秀賞	上田 一樹	薬学部	光へ
写真	優秀賞	金指玖留美	経営情報学部	ニャンバスライフ ～修羅場～
	佳作	福土 南	薬学部	「その先には…」
	佳作	工藤 悠翔	薬学部	春の香り



創造力コンテストの審査

第4回剣祭イメージキャラクターの募集

来年度の剣祭の顔となる第4回剣祭イメージキャラクターの募集を行いました。17件の応募があり、剣祭来場者の人気投票(投票総数236票)も加味して審査した結果、最優秀賞は該当がなく、優秀賞1件と佳作3件が選ばれました。

部門	賞	名前	所属	キャラクター名
剣祭イメージキャラクター	優秀賞	中野 達基	薬食生命科学総合学府	つるべえ
	佳作	小林 勇太	薬学部	つるぎ丸
	佳作	尾崎 順哉	薬食生命科学総合学府	モニュまる
	佳作	青柳 有紀	薬学部	もにゅさん (モニュメント+富士山)

皆様からの基金へのご協力、御礼申し上げます。

(敬称略:平成27年7月～平成28年1月分で寄付の順)

良知徹・小林裕和・眞鍋敬・板井茂・小針進・細川光洋
木苗直秀前学長退官記念事業会・山田静雄・大橋典男
坂田昌弘・内田浩志・岩崎邦彦・合田敏尚・渡邊聡・創星会
松浦博・佐藤知久・鈴木和幸・清水淳次・石川准・小林みどり
吉村紀子・一ノ瀬祥一・野口修治・熊谷裕通・前山亮吉
増田修一・橋川裕之・池田哲夫・大学後援会・野秋貴靖
今井康之・伊藤秀治・石井康子・犬塚協太・原清敬・西川浩昭

静薬創立100周年を迎えて

平成28年(2016年)は、本学薬学部的前身である静岡女子薬学校が大正5年(1916年)に静岡市鷹匠町の地に創立されて以来100年の節目となります。昭和28年(1953年)静岡県立静岡薬科大学の開学からは63年、昭和62年(1987年)に県立3大学の統合により静岡県立大学薬学部となってからは29年を迎え、この間、着実な発展と充実を重ね、教育・学術研究の拠点として高い評価を受け、卒業生・修了生は各界・各方面において大いに活躍されております。この記念すべき年を迎え、記念事業を企画いたしました。事業の推進により、静岡県立大学薬学部を薬学関連領域の学術交流の拠点とし、一層の発展と充実を図るべく努力する所存であります。なにとぞ、本事業にご賛同・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

薬学部長 賀川 義之(昭和58年静岡薬科大学卒)



沿革

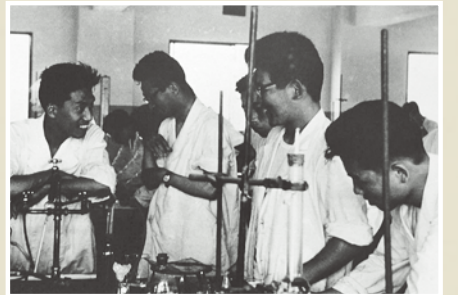
1916(大正5)年	岩崎照吉(1871～1925)により「静岡女子薬学校」として創立
1945(昭和20)年	「財団法人静岡女子薬学専門学校」が設立
1953(昭和28)年	「静岡県立静岡薬科大学」が開学(小鹿キャンパス開設)
1987(昭和62)年	「静岡県立大学薬学部」に組織変更
1989(平成元)年	谷田キャンパスに移転
2002(平成14)年	文部科学省COEに採択 ※Center of Excellence:優れた研究拠点の意
2004(平成16)年	「創薬探索センター」の設置
2006(平成18)年	薬学部学科改編、6年制薬学科と4年制薬科学科を設置
2007(平成19)年	グローバルCOEに採択
2012(平成24)年	大学院薬学研究科及び生活健康科学研究科を改編し、 大学院薬食生命科学総合学府および薬学研究院・食品栄養環境科学研究院を設置する
2013(平成25)年	「薬食研究推進センター」設置



制服の静岡女子薬学校生(昭和12年)



薬科大学全景(現小鹿キャンパス)



薬化学実習(昭和35年)

*写真提供:宮城島惇夫(平成23年薬学部退職、昭和46年静岡薬科大学卒)

記念行事

平成28年7月16日(土)

会場 静岡県立大学谷田キャンパス大講堂
1.記念講演「PD-1抗体によるがん免疫治療」
静岡県公立大学法人理事長 本庶 佑
2.記念シンポジウム「つぎの100年に向けて」

平成28年7月17日(日)

記念式典・祝賀会
会場 ホテルセンチュリー静岡

静薬基金の設立と事業への募金のお願い

このたび、静薬創立100周年を記念し、記念行事の開催などのため、寄金を設立いたしました。記念事業、募金等の詳細につきましては、下記のWEBページよりご覧いただけます。

<http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/alumni/> (薬学部または静岡県立大学公式サイトからアクセスできます)



薬学部 医薬生命化学研究室

奥直人 教授

リポソームを用いた脳疾患治療で健康長寿社会に貢献する

— 先生の主要研究である「リポソーム工学を利用したDDS」とはどんな研究ですか。

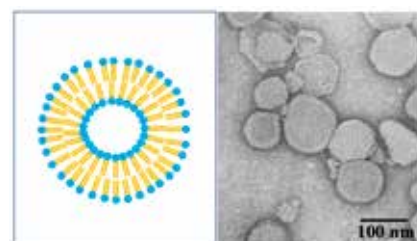
リポソームとは、細胞膜と同じ様な構造を持った脂質小胞、言い換えればカプセルのようなもので、1964年にイギリスのバンガム博士が発見しました。薬を飲んだり注射したとき、成分の中には生体内で速やかに分解されて効力がなくなってしまうものや、逆に必要のない部位に作用し副作用を引き起こすこともあります。このような薬物の性質に対し、体内での薬物分布の時間や量、場所をコントロールする技術を、「薬物送達システム（DDS = Drug Delivery System）」といいます。私たちの研究室では、リポソームの技術を用い、がんや虚血性疾患などの治療を目指した薬物送達方法に関する研究をメインテーマとしています。

— リポソームを用いた薬剤はどのような疾患に効果的ですか。

リポソームは人工膜でありながら、細胞膜を形成するリン脂質が主な構成成分です。細胞と同じようなものなので、毒性や抗原性がありません。また、リポソームは、メートルの10億分の1である「ナノ」という単位から「マイクロ」の単位まで、自在に大きさを調整することができます。生体への負担を軽減しながら、安全かつ効果的に体内に届けることができるため、副作用の強い抗がん剤などの研究で用いられることが多いです。DDSには注射剤、経口投与や経皮吸収など様々な方法がありますが、リポソームはDDSのなかでも特に様々な疾患に対する治療に応用できる可能性を秘めています。先に上げたように、抗がん剤への応用研究が盛んですが、私たちの研究室ではこのほかに、脳疾患に応用した研究を先進的に行っています。

— なぜ、脳疾患への応用をしようと考えられたのですか？

我が国の死因別死亡率はがんがトップですが、上位を占める疾患はいずれも高齢者に多くみられるものです。特に脳梗塞に代表される脳血管疾患（虚血性疾患）は、要介護に至る第一位の疾患で、患者のQOLや、高齢化社会においては非常に深刻な問題です。脳梗塞は、脳に酸素や栄養素を運んでいる動脈内に血栓ができる病気です。動脈がつまると、脳血流量が局所的に低下し、脳の神経細胞は時間が経てば経つほど傷み、ついには神経細胞が死に至り、元



リポソームの模式図 電子顕微鏡写真

に戻らなくなります。そのため、現在の医学では、脳梗塞発症後4.5時間以内に、血栓溶解剤（t-PA）を投与しなければなりませんが、検査時間などいろいろな制約から、実際に治療ができる患者は5%ほどに留まります。

そこで、脳細胞を保護する薬を内包したリポソームを脳梗塞時に投与することで、後遺症の軽減や、血栓溶解剤との併用による投与時間の延伸など、より多くの患者さんの治療を可能にすることが期待できると考えました。疾患の予後が改善されれば、患者さん本人だけでなく、介護の必要性が激減し、健康長寿社会の実現につながります。

— 研究室の日頃の様子を教えてください。

チャレンジ精神旺盛な学生が多いです。私自身どちらかというと自主性を重んじ、褒めて伸ばすタイプだと思います。勉強会での発表や研究の進捗報告などはシビアに見ますが、彼らには何よりも楽しんで研究に取り組んでもらいたいと思っています。大学の学問には範囲がないので、自ら選んだ分野を深く学んだ学生こそが充実感を味わえるからです。

STUDENT VOICE



学部6年 村岡 英一さん

自らが望む研究を
自由に学べる環境があります

私はリポソームが届きやすいがんの種類を解明する研究を行ってきました。実践したい研究をやらせてもらえる自由と、自ら考えて行動する力や積極性を養える環境が、この研究室にはあると感じます。この春からは製薬企業で創薬に携わりますが、市場に出る新薬の開発の一つでも多く関わられるよう研究に取り組み、後輩の手本となるような人材に成長していきたいです。



研究室入口の奥教授をモチーフにした写真のコラージュが目に残る

また、学生がいつでも相談に来られるようにできるかぎり部屋にしているようにしています。研究室のイベントも多いので、学生と過ごす時間は長いですね。ボウリングやお花見、旅行のほか、社会人1・2年目の卒業生を招いて現役生を交えた食事会を開くのが恒例になっています。卒業・修了生が研究室を訪ねてくれることも多く、遠方から結婚の報告や子供を連れて来てくれたりします。私にとって研究室は、もうひとつの家族のような存在かもしれません。



博士課程2年 岡本 彩香さん

患者さんの生活の質を維持する
がん治療薬開発への貢献を目指しています

がんに関心があったことからこの研究室を志望しました。研究室では、先生方が学生の自主性を大切にしたい上で、いつでも相談に乗ってくれますし、きちんと叱ってくれて、見守ってくれます。とても温かい研究室です。私は「低分子干渉RNA（siRNA）」という核酸分子を、リポソームを使って目的の場所まで安定に運ぶ研究をしています。siRNAは、副作用の少ない新しいがん治療を可能にする分子として期待されているRNA干渉剤の一種です。将来はsiRNAとDDS技術の組み合わせにより、患者さんの生活の質（quality of life; QOL）を高く維持したがん治療薬開発に貢献できるよう、努力を続けたいと思っています。

— 先生は長年の功績が認められ、平成28年度に学会の最高賞である日本薬学会賞の受賞が決定していますね。

年齢的に最後のチャンスといえる時期を迎えていたので、受賞できてとてもうれしいです。私がリポソーム研究に出会った1970年代当時と比べて、近年は国内の研究成果もぐっと増えています。これから若い人が育ち、DDSを利用して人々の健康に役立つ薬を作ってほしいと思います。



奥直人 教授（薬学博士）

1952年生まれ東京都出身。東京大学薬学部を卒業後、同大学院修了。米国ノースウェスタン大、摂南大を経て、1991年から本学に奉職し1998年に薬学部教授に就任。

医薬生命化学研究室
教員4名 学生22名
社会人（博士課程）4名 研究員1名

<http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/radiobio/>



産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

「焼津未来創生総合戦略の推進に向けた連携に関する協定」を締結

平成 27 年 12 月 17 日(木)、焼津市役所において、焼津市と大学、産業界、金融界等の間で協力関係を構築する「焼津未来創生総合戦略の推進に向けた連携に関する協定」の締結式を行いました。本協定は、各界が持つ人的・知的資源を活用し、相互に連携することにより、活力あるまちの創出と地域の発展を目指すことを目的としたものです。

本学はこれまで、まちづくりや多文化共生など、焼津市の協力を得ながら同市をフィールドとした研究を進めてきましたが、今回の協定締結により、参画する各機関と連携し、焼津市が策定した「焼津未来創生総合戦略」の推進に協力するほか、本学の教育・研究活動のさらなる充実を図ってまいります。

また、締結式に先立ち、中野弘道焼津市長と鬼頭学長が懇談し、焼津市の人口減少に対する取り組み、本学の地域貢献の取り組みなどの情報



締結式の様子

交換や、今後の協力に向けた意見交換を行いました。

【協定参加団体(全 12 団体)】

行政:焼津市

大学:静岡大学、静岡県立大学、静岡福祉大学

産業関係:焼津商工会議所、

大井川商工会、焼津漁業協同組合、大井川農業協同組合

金融関係:焼津信用金庫、静岡銀行

労働・福祉関係:焼津公共職業安定所、焼津市社会福祉協議会

産学民官の連携を考えるつどい2015

産学民官の連携活動促進のため、「産・学・民・官の連携を考えるつどい 2015」(共同開催:「静岡食品環境フォーラム」)を今年も開催しました。

産学民官連携セミナー

今回は、「エアウィーヴのグローバルブランディング戦略—新技術でマットレス市場に参入し、7 年でトップブランドに成長—」と題して、株式会社エアウィーヴ代表取締役会長 高岡本州氏より、商品開発のプロセス、消費者の信頼に繋がるブランディング、販売促進戦略の転換などについて具体事例を交えながら講演いただきました。

静岡県内の企業や、静岡県をはじめとする自治体関係者、公設試験研究機関の研究員、スーパーサイエンス・ハイスクール認定高校の生徒、本学教員・



株式会社エアウィーヴ代表取締役会長 高岡本州様

学生など、約 500 名の参加をいただき、盛況のうちに講演会を終えました。

研究成果発表・交流会

本学の研究者・研究室、連携組織、

自治体など合計 84 ブースがポスターやパンフレット、研究成果品などを展示。来場者に説明したり情報交換したりするなど、交流を図りました。

学生の日々

学生たちのサークル情報・課外活動をご紹介します。

春は旅立ちの季節。この春大学を卒業し、社会へはばたく学生から、新たに県大に仲間入りする新入生に向けたメッセージを集めました！大学生活を振り返った言葉には、大学の魅力がたくさん込められています。先輩から後輩へ、県大生のバトンをはばたき誌面でつなぎます。



図書館 だより

あなたの物語が図書館から始まります

附属図書館には、学術情報の拠点としての機能、特に学術資料の収集と提供、施設設備の整備と情報管理システムの高度化を求められており、そのために、学生生活の質（QOL）の向上を図るための図書館資料を整備すること、卓越した教育と高い学術性を備えた研究を推進するための電子的学術資料を充実すること、県民や地域社会に図書館サービスを開くことに取り組んでいます。学術的・専門的なサービスを通して、本学の目標である「県民の誇りとなる価値ある大学」の実現を目指

しています。

さて、図書や雑誌、コミックを含めた出版界には、ここ数年大変厳しい風が吹いています。県内でも多くの書店が廃業しています。図書や雑誌が売れず、新聞の購読契約等も減少しています。しかし、私が若い頃の書店は、驚きや発見、未知との出会いの場として輝いていました。

私のお勧めは『天皇の料理番』です。直木賞作家・杉森久秀氏が昭和54年に執筆したもので、テレビドラマ化が話題となり昨年文庫本が再刊され、

もう一度手に取って読むことができました。宮内省の初代厨司長として、大正・昭和天皇の料理番となった「秋山徳蔵」をモデルにした痛快な評伝小説です。ズングリして背が低く、肩幅が張り、負けん気が身体中に溢れている福井の庄屋の次男坊が、カツレツの味に会い、料理人を目指して上京するところから物語は始まります。

あなたの物語が図書館から始まります。附属図書館に足を運び、本に触れて、本を味わってください。

（附属図書館事務長 岡田克彦）

私の一冊の本



編集者:M.H.クラウス、J.H.ケネル、
P.H.クラウス/著、竹内 徹/訳
出版社:医学書院
請求記号:493.91/KL 2
ISBN:4-260-33150-7

本書は、Marshall H. Klaus, John H. Kennell, Phyllis H. Klaus による『Bonding: Building the foundations of secure of attachment and independence.』（『絆の形成—確かな愛着と自立の基礎を築く』）の全訳です。その前身である『Maternal-infant Bonding.』（『母と子の絆』）医学書院

1979）及び『Parent-Infant Bonding』（『親と子のきずな』医学書院1985）につづく第3版で、著者らが長年携わってきた研究・観察してきた結果をまとめたものです。妊娠・分娩・産褥という周産期において、子どもと親が互いの存在を認識し、いかに絆を形成し親密な関係を維持するか、だけでなく、父親と母親それぞれにどのような身体的・情緒的支援が必要かを明らかにしています。生まれたばかりの子ども（新生児）はひとりでは生きていくことはできません。新生児は自分を育ててくれる人が必要であり、全面的に依存しています。単に日常生活の世話をするだけでなく、新生児に関心を寄せ、心から慈しんで無償の愛情を注ぎ、情緒的発達を促してくれる母親や父親を必要としているのです。しかし子どもを授かり出産しただけでは、有能で無償の愛を注ぐ親になれる訳ではありません。新生児が健康な状態で誕生した場合、誕生した数時間、数日間に安心して親

密に関われる時間をもち、触れ合うことで互いに反応し合えることを発見し、母乳哺育をすることで愛情ホルモンと呼ばれるオキシトシンの分泌が促進され、かけがえのないわが子であるとの認識が深まります。そのような関わりを支援することが重要なのです。

章立ては9章まであり、とりわけ1章：妊娠—新しい関係の始まり、4章：家族の誕生 出生後の数分間～数時間、6章：絆の形成—一生後数日間、数週間、7章：早産児の誕生の親子結合、8章：奇形をもつ子どもと親子結合、にはこの時期どのように取り組むべきが、勧告として述べられています。医療従事者となる学生だけでなく、いつか子どもを授かり親となる若者として、是非一読されて、子どもとの絆形成がいかに人生を豊かにしてくれるかを知り、また内包しているより良い親となる種を発芽成長させるために、どのようにすればよいかを知る機会になればと思います。



作り方(4人分)

① チキン南蛮

・鶏もも肉	4切れ	・タルタルソース	
〔食塩〕	(小)1/5	玉ねぎ	40g
黒こしょう	少々	きゅうり	40g
・片栗粉	(大)2	鶏卵	1個
・キャベツ	1/4玉	ヨーグルト	50g
・甘酢あん		マヨネーズ	(大)2
〔酢〕	(大)3	練かし	(小)1/3
砂糖	(大)2	食塩	少々
酒	(大)3	白こしょう	少々
濃口醤油	(小)1・1/3		
片栗粉	(大)2		
水	(大)2・1/2		

- 鶏肉に塩、黒こしょうで下味をつける。
- キャベツを千切りにし、水にさらしておく。
- 甘酢あんを作る。酢・砂糖・酒・濃口醤油を混ぜ合わせて火にかけて、沸騰したら水溶き片栗粉でとろみをつける。
- タルタルソースを作る。鶏卵を固ゆでし、白身はみじん切り、黄身はつぶしておく。
- きゅうりと玉ねぎをみじん切りにする。玉ねぎは、水にさらして辛味を抜く。
- Aを混ぜ合わせ、白身・黄身と、絞って水気を切った玉ねぎときゅうりを合わせる。
- 鶏肉に片栗粉をつけ、160℃の油で7～8分揚げる。
- 揚げた鶏肉を4等分にそぎ切りする。
- 器にキャベツをしき、鶏肉をのせて甘酢あん・タルタルソースの順にかける。

② たけのこの煮物

・たけのこ(水煮)	小1個	しいたけの戻し汁	3カップ
・人参	中半分	濃口醤油	(小)2・1/2
・干しいたけ	4枚	砂糖	(小)2
・絹さや	2枚	みりん	(小)1・1/3

- 干しいたけを水に浸して戻す。
- たけのこ・人参は乱切りにし、しいたけは半分に切る。
- 鍋にたけのこ・人参・しいたけを入れ、しいたけの戻し汁・砂糖・みりんを加えて煮る。
- 濃口醤油を加えて柔らかくなるまで煮込む。
- 絹さやは、塩ゆでして冷水で冷ます。
- 器にたけのこ・人参・しいたけを盛り付け、絹さやを添える。

体に おいしいヘルシーメニュー

～第三弾～

1食分の熱量・栄養価

エネルギー	804 kcal
	*ごはん1杯(180g)をきむ
たんぱく質	31.6 g
脂質	18.4 g
炭水化物	123.9 g
食塩	2.8 g

献立のポイント

冬も終わりに近づき、春の訪れを感じますね。旬の食材を食卓に取り入れてみては？

③ かぶの甘酢和え ゆず風味

・かぶ	2個	〔酢〕	(大)4
・かぶの葉	6枚	砂糖	(大)2・1/2
		ゆずの皮	少々

- かぶは縦半分に切り、厚さ4mmの薄切りにする。
- かぶの葉は、3cm幅に切り、ゆずの皮は千切りにする。
- 酢と砂糖を混ぜ合わせておく。
- かぶの根と葉を2分ほど茹で、水を切って熱いうちにゆずと共に甘酢に漬けて粗熱が取れたら冷蔵庫で冷やす。

④ 三つ葉と花魁のすまし汁

・糸みづば	3本	〔1番だし〕	600ml
・花魁	8個	(かつお節 12g、水 660ml)	
		薄口醤油	(小)2

- 1番だしをとる。※はばたきNo.129 P17参照
- 1に薄口醤油を加え、味を調える。
- 糸みづばは根を切り落とし、熱湯をさっとかける。
- みづばを結び、花魁と共に器に入れて2を注ぐ。

⑤ 牛乳かん 黒蜜小豆ソース

〔粉寒天〕	2.8g	・黒蜜小豆ソース	
水	(大)2・1/2	〔粒あん〕	60g
・砂糖	(大)5・1/3	黒蜜	(小)1
・牛乳	340ml	熱湯	20ml

- 鍋に粉寒天と水を入れて5分程度ふやかす。
- 1をかき混ぜながら火にかけて、沸騰してから2分程度加熱し、砂糖を加えて煮溶かす。
- 牛乳を火にかけて沸騰しない程度に温め、2に加える。
- 水で濡らした器に流し入れ、粗熱が取れたら冷蔵庫で冷やし固める。
- 粒あんと黒蜜を混ぜ、少しずつ熱湯を加えて更に混ぜたらソースも冷蔵庫で冷やす。
- 牛乳かんが固まったらソースをかける。

美味しい 基本! ～エネルギーカット術～

タルタルソースでは、マヨネーズ:ヨーグルト=1:2の割合で使用しています! マヨネーズの一部をヨーグルトに置き換えることで、エネルギーを約80kcalもカット! ヘルシーで、さっぱり美味しく召し上がれます♪

※(大)=大さじ(15ml) (小)=小さじ(5ml)



profile 食品栄養科学部フードマネジメント研究室

私たちのラボでは、栄養学の知見を実践に生かし、人々に望ましい食環境を提供するため、中食や外食企業に働きかけて、フードシステムを介した「食環境整備」の方法を探索しています。機能性を有

する食品の選択や組合せパターンを用いた安全な食事メニューを調製し、官能評価、ヒト介入試験による評価、商品としての消費者満足度の検討等を行っています。

タルタルソースとしてだけでなく、ふかしたじゃがいもと混ぜてポテトサラダにアレンジするのもおすすめです♪



ヨーグルト

教員人事

採用

村岡大輔	大学院薬学研究院創薬探索センター	助教	平成28年1月1日付
------	------------------	----	------------

退職

光延聖	食品栄養科学部環境生命科学科	助教	平成27年11月30日付
疋田智也	薬学部薬学科	助教	平成28年2月29日付

教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトのニュース&トピックスからご覧いただけます。

教員

受賞者名	所属	受賞名
稲井 誠 助教	薬学部	平成27年度有機合成化学協会東海支部 奨励賞
野口 博司 教授	薬学部	平成27年度日本生薬学会 学会賞
鮒 信学 准教授	食品栄養科学部	平成27年度日本放線菌学会 浜田賞
湖中 真哉 教授	国際関係学部	日本学術振興会「科学研究費助成事業(科研費)」27年度審査委員表彰
島村 裕子 助教	食品栄養科学部	しずおか優秀若手女性研究者表彰 最優秀賞
中村 順行 特任教授	食品栄養環境科学研究院	平成27年度O-CHAバイオニア賞 学術研究大賞
高橋 忠伸 准教授	薬学部	日本ウイルス学会 杉浦奨励賞

学生

受賞者名	所属	受賞名
中村 美鈴 (5年)	薬学部	第13回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム(PPF2015) 若手研究者奨励賞
西尾 優汰 (博士前期1年)	薬食生命科学総合学府	第28回バイオメディカル分析科学シンポジウム(BMAS2015) 星野賞・優秀ポスター賞
福土 南 (4年)	薬学部	第34回分析化学中部夏期セミナー 優秀ポスター発表賞
久恒麻里衣 (6年) 佐々木美紅 (5年)	薬学部	フォーラム2015:衛生薬学・環境トキシコロジー 平成27年度日本薬学会環境・衛生部会 新人賞
紅林 佑希 (博士後期3年)	薬食生命科学総合学府	第14回 次世代を担う若手ファーマ・バイオフォーラム2015 優秀発表賞
荒岡 大紀 (3年) 植木孝太郎 (3年) 奥村 拓哉 (3年) 山下 雄大 (3年)	経営情報学部	第6回GSR学生アイデア・コンテスト 最優秀賞
久恒麻里衣 (6年)	薬学部	XI ISTER(第11回国際微量元素学会) ポスター賞
北條 友梨 (4年) 御村 菜月 (4年)	経営情報学部	日本e-learning学会 第18回学術講演会 優秀賞 奨励賞
妹尾 奈波 (博士前期2年)	薬食生命科学総合学府	しずおか優秀若手女性研究者表彰 優秀賞
紅林 佑希 (博士後期3年) 稗田蛍火舞 (6年)	薬食生命科学総合学府 薬学部	日本病院薬剤師会東海ブロック 日本薬学会東海支部合同学術大会2015 ベストプレゼン賞
高山 卓大 (博士前期2年)	薬食生命科学総合学府	第26回クロマトグラフィー科学会議 優秀発表賞
後藤 篤実 (博士前期2年)	薬食生命科学総合学府	第46回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 VIP(Very Impressive Presentation)賞
水野 春花 (博士前期1年)	薬食生命科学総合学府	第28回リバネス研究費CSTジャパン賞
田口 理紗 (博士4年)	薬食生命科学総合学府	2015年度糖鎖科学中部拠点 奨励賞
大石 真生 (4年)	経営情報学部	第13回情報学ワークショップ(WiNF2015) デモ・ポスター賞
稲垣 僚 (博士前期2年) 小池 麻友 (4年)	薬食生命科学総合学府 食品栄養科学部	平成27年度日本食品科学工学会中部支部 シンポジウム／支部大会 優秀賞
紅林 佑希 (博士後期3年)	薬食生命科学総合学府	BMB2015(第38回日本分子生物学会年会／第88回日本生化学会大会 合同) 若手優秀発表賞

クラブ・サークル

受賞者名	受賞名	受賞者名	受賞名
硬式テニス部	第19回東海学生チャレンジテニストーナメント大会 女子ダブルス優勝 長谷川 万由子(経3)青山 春菜(薬3)	バドミントン部	東海医歯薬科学生バドミントン大会 男子シングルス 優勝 渡部 紘三(薬6) 準優勝 沼子 将大(薬4) 男子ダブルス 優勝 渡部 紘三(薬6)・沼子 将大(薬4)(その他団体、個人優勝)
フットサルサークル Pesca Peito	AIDEM CUP 2015 FINAL 3位		

学生の学年は受賞当時のものです。

木苗直秀前学長からの寄附金により図書を購入



期間限定で設けられた特設コーナー(谷田)

附属図書館では、平成26年度に退任した木苗直秀前学長(現名誉教授)より贈呈された奨学寄附金により、310冊の図書を購入しました。



対象図書には木苗前学長の寄贈である印字

寄付金は、木苗前学長の退任を記念して昨年2月に行った「感謝のつどい」において贈呈されたものです。長きにわたり本学の発展に多大な貢献をされた木苗前

学長の、「静岡県立大学の教育研究の一層の推進を支援されたい」との趣旨に基づき、6月に行われた第1回学生選書ツアー(注)の際に、学生たちが自ら選んだ図書の購入費に充てられました。購入図書は谷田・小鹿両図書館に収蔵し、随時閲覧・貸出を行っています。

(注)学生選書ツアーとは、学生自らが、図書館に置いて他の学生に読んでほしい本を直接書店で選ぶ企画で、年に2回実施されています。学生の目線から選書した図書は、多くの学生たちの興味・関心を呼び、附属図書館の大きな魅力になっています。

平成27年度

学位記授与式

(卒業式・修了式)について

平成27年度の学位記授与式(卒業式・修了式)を次の日程で開催いたします。

開催日

平成28年3月17日(木)

開場

午前9時10分

着席

午前9時40分

開式

午前10時

会場

グランシップ大ホール 海

静岡市駿河区池田79-4(最寄駅 JR東静岡駅 徒歩5分)

保護者席をご用意しておりますので、ぜひご列席ください。

130号の送付について(お詫び)

前号130号(2015年10月1日発行)の発送の際に、宛先記載の不備により、一部の方への未達・遅延が生じました。読者の皆様には多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

はばたき

●次号132号は2016年7月1日発行の予定です。

131号 2016年3月1日発行
発行元／静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学広報室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL／054-264-5130 ■FAX／054-264-5099
- E-mail／koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/



ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか、ご卒業生などに関連する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

求む旅人。
ドライブのある人生にしよう。
免許をとってつながる、新しい世界。



静鉄自動車学校は、平成27年に創立54周年を迎え、卒業生総数は80,000人を超える、静岡県内でも有数の歴史ある自動車学校です。

また、初心運転者事故率においても、静岡県内でトップクラスの低さを誇っています。

はばたき特別割引

お申込み時に当広報誌をお持ちいただいた方に、通常料金から10,000円割引いたします。



静鉄グループ
公認

静鉄自動車学校



0120-450-335

静岡市清水区馬走北5-1(イオン清水店さん隣)



県大オリジナルグッズの紹介

谷田キャンパス売店では、静岡県立大学オリジナルグッズを販売しています。
記念や贈答用にぜひご利用ください。

【マフラータオル】

中央に学校名(英文)、左側の校章は日本のシンボルである「富士山」とそこにはばたく「若鳥」を、右側の四角い絵柄は大学校舎の「レンガ」をイメージしたデザインです。

1,400円/本



【Tシャツ】

左胸に学校名(英文)と校章のワンポイントが入ったデザインの吸汗・速乾にすぐれたTシャツです。

全3色

(ブラック・サックスブルー・ピンク)

サイズはS・M・Lの3種類。

2,200円/枚



【ポストカード】

本学の建物や四季折々の風景が入ったポストカードです。大切な人へのグリーティングカードに、本学の思い出に。絵柄は全部で8種類。

30円/枚(4枚 100円)



【ジェルボールペン】

ノックしてすぐにはけるさらさら書き味のジェルボールペンです。

86円/本



【煎餅】

地元の煎餅製造業者によるオリジナル瓦煎餅です。

12枚 300円

18枚 560円

36枚 1,080円

